

みずほCustomer Desk Report 2016/09/14 号(As of 2016/09/13)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	101.56 AUD/USD
TKY 9:00AM	101.75	1.1241	114.38	0.9717	1.3331	0.7566
SYD-NY High	102.74	1.1260	115.31	0.9784	1.3341	0.7568
SYD-NY Low	101.42	1.1204	113.95	0.9708	1.3166	0.7443
NY 5:00 PM	102.59	1.1224	115.05	0.9768	1.3190	0.7464
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	13.51/13.96		△25RR	0.428	Yen Call Over	

NY DOW	18,066.75	▲ 258.32	債券市場	日本2年債	-0.2440	▲1.0bp
NASDAQ	5,155.26	▲ 56.63		日本10年債	-0.0130	▲1.1bp
S&P	2,127.02	▲ 32.02		米国2年債	0.7982	2.8bp
日経平均	16,729.04	56.12		米国5年債	1.2455	4.9bp
TOPIX	1,322.99	▲ 0.11		米国10年債	1.7271	6.4bp
シカゴ日経先物	16,605	▲130.00	為替市況	独10年債	0.0710	3.3bp
ロンドンFT	6,665.63	▲35.27		英10年債	0.9110	4.5bp
DAX	10,386.60	▲45.17		豪10年債	2.0650	1.6bp
ハンセン指数	23,215.76	▲74.84		USD/CNH	6.6905	0.0054
上海総合	3,023.51	1.53		ドルインデックス	95.56	0.47
USDJPY 3M Vol	12.74	0.25%	商品市況	CRB指数	180.560	▲2.38
USDJPY 6M Vol	12.11	0.17%		NY金	1,323.700	▲1.90
EURJPY 3M Vol	11.87	0.16%		WTI	44.900	▲1.39
EURJPY 6M Vol	11.73	0.13%		Dubai Spot	43.62	▲1.85

東京	東京時間のドル円は101.75レベルでオープン、前日比プラスで寄り付いた日経平均株価が上げ幅を縮小したこと等からじり安推移となり一時101.42まで下落。中国8月鉱工業生産/小売売上高/固定資産投資(前年比)はそれぞれ市場予想を上回る結果となるも市場の反応は限定的となった。その後は一時マイナス圏まで沈んだ日経平均株価が反発に軽じり安推移となったこと等からドル円もじり高推移となり一時102.05まで上昇。しかし、前日海外時間に米国早期利上げ期待が後退したことも意識され、この水準から一段と上値を追う展開とはならず、101.97レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
	ロンドン時間のドル円は101.97レベルでオープン、前日のブレイナードFRB理事の発言を受けて9月利上げ観測が遠のく中、序盤は102円ちょうど近辺を上限としたレンジ推移。しかし、財務省が40年国債を4000億円増発することを正式に決定すると、日銀の緩和余地が拡大したとの見方から、ストップを巻き込み102.33まで上昇し、102.27レベルでNYに渡った。ロンドン時間は1.3324レベルでオープン、IEA月報で世界の石油需要見通しが下方修正され北海原油が軟調に推移する中、英8月消費者物価指数が前年比0.6%の上昇と、市場予想(同:0.7%)を下回ったことや、英大手銀行が今後9ヵ月間で従業員の10%にあたる1万3600人を削減するとの報道等が嫌気され、1.3244まで下落。1.3250レベルでNYに渡った。ユーロは小動き、1.1234レベルでオープンし、序盤は独金利低下に連れられて1.1216まで下落するも、伊7月鉱工業生産が、前月比+0.4%と、市場予想(+0.2%)を上回る伸びを示したことで、1.1240まで上昇。その後、独9月ZEW景気期待指数が市場予想(2.5)を下回る0.5となったことで小緩み、結局、オープンと同水準の1.1234レベルでNYに渡った。(ロンドン・リアルタイム 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	東京時間のドル円は101.42まで下落するが、財務省が40年国債を発行するとの報道や、日銀総括的検証に向けて追加緩和期待も一部あり102.27レベルでNYオープン。早朝に発表された米8月NFB中小企業楽観指数は予想を下回ったが、反応は限定的。朝方は小幅安に寄り付いたタウ平均がマイナス幅を大きく拡大したことを背景にドル円は上値の重い推移となり102.08まで下落。しかし午後に入り、本邦大手紙から「日銀、緩和拡大はマイナス金利軸に」とのヘッドラインを受け、来週の会合での追加緩和期待にドル円は102.60付近の短期的なストップを巻き込み一時102.74まで上昇。その後は米10年債利回りが1.70台に回復したことも下値をサポートする材料になり、ドル円は底堅い推移となり、102.59レベルで海外市場に渡った。一方ユーロドルはロンドン時間に発表された独8月消費者物価指数(前月比)、独ZEW調査(現状)が予想範囲内であったこと等から狭いレンジ内での推移が続く。1.1234レベルでNYオープン。新規材料に欠く中、下値を試す動きも見られ一時1.1204まで下落。しかし1.1200近辺がサポートラインとして意識される中、このレベルでは買い意欲も見られ、1.1224レベルで海外市場に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 西谷・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月13日	11:00	中 鉱工業生産/小売売上高/固定資産投資(前年比)	8月 6.3%/10.6%/8.1%	6.2%/10.2%/7.9%
	15:00	独 CPI・確報値(前月比/前年比)	8月 0.0%/0.4%	0.0%/0.4%
	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	8月 0.3%/0.6%	0.4%/0.7%
	17:30	英 CPIコア(前年比)	8月 1.3%	1.4%
	17:30	英 PPI産出(季節前、前月比/前年比)	8月 0.1%/0.8%	0.3%/1.0%
	18:00	独 ZEW調査(現状/期待)	9月 55.1/0.5	56.0/2.5
	18:00	欧 ZEW調査(期待)	9月 5.4%	-

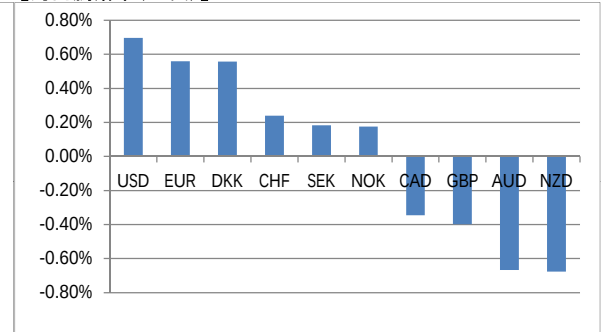
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月14日	13:30	日 鉱工業生産・確報値(前月比/前年比)	7月 -/-	0.0%/-3.8%
	17:30	英 失業率	8月 2.2%	2.2%
	17:30	英 ILO失業率	7月 4.9%	4.9%
	18:00	欧 鉱工業生産(前月比/前年比)	7月 -1.0%/-0.8%	0.6%/0.4%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	0.9%
	21:30	米 輸入物価指数(前月比)	8月 -0.1%	0.1%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	101.80-102.80	1.1180-1.1280	114.20-115.50

【マーケット・インプレッション】

昨日は、前日のブレイナードFRB理事講演において従前通りハト派な姿勢が示されたことで、9月利上げ期待が後退した流れを引き継ぎドル円は一時101円台半ばレベルまで下落。しかしその後徐々に持ち直す展開となると、「財務省が40年債増発を正式決定」との報道に102円台まで上昇。さらに「日銀は総括検証において、今後の緩和拡大はマイナス金利を軸に検討」とのヘッドラインが伝わると一段高の展開となり、一時高値102.74まで上昇した。

本日のドル円は上値の重い展開を予想する。昨日は日銀のヘッドラインを受けて上昇する展開となったものの、来週の金融政策決定会合に向けてやや前のめりになっている印象は否めない。足許のメインピックスはFRBの金融政策ということ是不変であり、利上げ期待が高まっていない状況下、積極的に上値を追う展開になることは考えにくい。昨日からブラックアウト期間に入っていることもあり、明日以降順次発表される米重要指標を見るまでは動きづらい展開が続くだろう。